

R3年度 保育者自己評価チェックリスト

城下保育園

職員の資質向上

社会性 一般常識

はい いいえ

○ あいさつ・電話・来客対応ができる

- | | | | |
|---|---------------------------------------|------|----|
| 1 | 相手に対して正対し、目をきちんと合わせ、あいさつや会釈等もきちんとできる。 | 100% | 0% |
| 2 | 正しい言葉遣いができる。 | 92% | 8% |
| 3 | 電話が鳴ったら、早く出るようにしている。 | 92% | 8% |
| 4 | 電話の用件は間違いが無いようメモに残し、確認や伝達を行っている。 | 96% | 4% |
| 5 | 周囲の人や来客に清潔感を与える対応や身だしなみを実践している。 | 100% | 0% |

○ 基本的なマナー、言葉遣いに気を付け、常に笑顔を心がける

- | | | | |
|----|--|-----|-----|
| 6 | いつも笑顔で対応できる。 | 96% | 4% |
| 7 | きれいな言葉遣いで、心地よい会話ができる。 | 84% | 16% |
| 8a | 乳児室に入る前に、靴を脱ぎっぱなしにせず、きちんとをそろえている。ドアの開閉の音や歩く時の靴音や、物の取り扱い等にも注意をはらっている。 | 61% | 39% |
| 8b | 名札を毎日きちんと、保護者に見えるようにつけている。 | 84% | 16% |

○ 仕事に適した身だしなみに注意している

- | | | | |
|-----|--|------|-----|
| 9 | 子どもの発達段階を意識し活動的で子どもが心地よく感じられる服装を心がけている。 | 100% | 0% |
| 10 | 髪が顔にかかったり爪が伸びたりなど、不衛生にならないよう日頃より気を付けている。 | 100% | 0% |
| 11 | 髪の色が明るすぎて派手な印象を与えず、落ち着いた清潔感や安心感を与えられるように気を付けている。 | 92% | 8% |
| 12a | ジャージで出勤や退勤することは禁止されていることを理解している。 | 100% | 0% |
| 12b | ジャージで出勤や退勤をしていない。 | 84% | 16% |

○ 自己の健康管理ができる

- | | | | |
|----|------------------------------------|-----|-----|
| 13 | 睡眠を十分にとり、勤務に支障をきたさない規則正しい生活を送っている。 | 92% | 8% |
| 14 | 朝昼夜3度の食事をきちんと摂っている。 | 76% | 24% |
| 15 | 体調不良のときは速やかに通院している。 | 92% | 8% |
| 16 | 予防接種を受けるなど、できるだけ予防に努めている。 | 92% | 8% |

○ 保育士という職種や園の信用をなくす行為、発言をしない

- | | | | |
|-----|---------------------------------------|------|----|
| 17 | 日常生活で保育士としての度を越す言動をとらない。 | 96% | 4% |
| 18 | セクシャルハラスメントやパワハラ、虐待など保育士にあるまじきことをしない。 | 96% | 4% |
| 19 | 保育園及び職員の不満を他言しない。 | 100% | 0% |
| 20a | 保育士としての生活、行事をこなし、毎日楽しく勤務している。 | 92% | 8% |

20b	台拭きで、床に落ちた食べ物や、飲み物を拭かないよう細心の注意をはらっている。 又、雑巾や布巾、カバンなどを投げて置かないように気をつけている。	100%	0%
○ 上司の指示や定められた規則、手続きを守ることができる			
21	上司の指示を実行し、結果を報告している。	100%	0%
22	上司の言葉を素直な気持ちで受け止めることができる。	100%	0%
23	就業規則等、諸規則を理解し、規則を守る生活を心がけている。	100%	0%
24	小さなことでも、仕事上不安なことは、一人で抱え込まず上司に相談している。	80%	20%
○ 認定こども園における2つの保護者支援について理解している			
25	入所児童の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭への支援双方に、積極的に取り組まなければならないことを理解している。	100%	0%
26	子どもの最善の利益を考慮し、保護者の気持ちを受け止め、保護者一人一人の自己決定を尊重することを理解している。	100%	0%
27	子どもの送迎時や行事など様々な機会を通し、子どもの様子や保育の意図を説明し、保護者との相互理解を図っている。	100%	0%
○ 社会性 コミュニケーション			
28	公平に人の話を聞いたり話したりし、正確に伝達できる。	100%	0%
29	協力体制の重要性を認識し、上司、同僚等と仲良くしている。	96%	4%
30	苦手な人こそ、その人の話を聞くように努めている。	84%	16%
31	苦手な人とも一緒に活動するようにし、公平性を保っている。	100%	0%
32	保育の質の向上をさせるためには、職場内でもきちんとした態度や言葉遣いに気を付け相手の目を見て挨拶したり話すように気を配っている。	100%	0%
33	自分の意見を話すだけでなく、相手の意見を偏見を持たずに聞くようにしている。	100%	0%
34	分からない時はその旨を正直に伝えうやむやにせず、再確認をしている。	100%	0%
35	業務遂行にあたり、正確、迅速かつ、こまめに上司に報告、連絡、相談を実践している。	92%	8%
○ 保育士等の意欲・姿勢			
36	勤務開始時間の10分以上前に出勤している。	69%	31%
37	行き当たりばったりではなく、指導計画を基に、日々の乳幼児の状況に沿った保育をしている。	96%	4%
38	毎朝、行事予定表・日案に目を通し確認、記憶している。	80%	20%
39	進んで保護者に話しかけることができる。	96%	4%
40	自ら進んで職務を完全遂行する、積極的な姿勢がある。	96%	4%
41	職務遂行に積極的で、担当以外の業務にも進んで取り組むことができる	96%	4%
42	掃除などの当番業務を進んで手伝うことができる。	88%	12%
43	他の保育士等とのコミュニケーションを密にしている。	92%	8%
44	進んで手伝いを申し出ることができる。	96%	4%
45	職務の中で、不都合な事の改善及び提案ができる	88%	12%

46	会議等で、積極的に発言できる。	50%	50%
47	「皆がやっているから」「以前からの慣例だから」という思いにとらわれない。	73%	27%
48	自分だけの不都合かどうか、客観的に考えることができる。	96%	4%
49	考えたこと、思いついたことを上司に相談できる。	80%	20%
50	自分の施設の長所・短所を正しく理解し、提案や改善ができる。	61%	39%
51	それぞれの職務において、自己研鑽を積むことができる	100%	0%
52	人間として資質を磨くように努力する意欲がある。	96%	4%
53	保育士としての基本である研修に取り組む意欲を持っている。	100%	0%
54	苦手な分野の情報や研修を知ろうとする意欲がある。	96%	4%
55	研修報告などで気付いたことを自分の業務に反映できる。	96%	4%

○ 指導力 職員間の連携

56	職員間で協調性や信頼感がある	96%	4%
57	職務上の事案と私的な事案を明確に区別することができる。	100%	0%
58	園の方針、活動の目的、または問題意識の共有などを職員間で共通理解し、協力できる。	100%	0%
59	保育士として信頼を損なう行動をしない。	100%	0%
60	おのおのの特性や得意・不得意を理解し、良い方向へ進めることができる。	92%	8%
61	苦手な人を無視したり、陰口を言わない人権を守る強い意志がある。	100%	0%
62	後輩に適切な助言や的確なフォローができる コミュニケーションをよくとり、後輩が安心して相談できるように心がけている。	76%	24%
63	先輩は後輩の見本になり、適切に指導することができる。	65%	35%
64	後輩は先輩の指導を素直に受け入れることができる。	100%	0%
65	後輩の保育士、先輩の保育士の垣根を超え、互いの長所・短所などの相互理解を深めるように努めている。	96%	4%
66	適切な助言をするために、全体の状態を見渡せる能力が身に付いている。またその時々保育の方向性(目的)を正しく理解している。	73%	27%
67a	困った時は、助け合い互いに適切な援助をすることができる。	100%	0%
67b	クラスの出し物やイベントの際には、自分の考えだけで自分勝手に進めず、主任や他のクラスの職員とも相談しながら、進めていくことができる。	92%	8%

保育 発達と援助

68	子どもに対して、しっかりと目を見て挨拶や、やり取りできるように心がけている。	100%	0%
69	子どもの人権を尊重し、絶対に呼び捨てにしないように心がけている。	57%	43%
70	子どもに対して、命令や指示、説得ばかりにならないように子どもの気持ちを汲み取るように心がけている。	100%	0%
71	子どもが自分でできる事を待たずに先に大人がやってしまう様に子どもの自主性を大切にしている。	96%	4%
72	子どもの気持ちに寄り添い共感できるように常に心がけている。	100%	0%

73	先に答えを言ってしまうずに、子どもが自分で考え気付くチャンスを与える言葉がけや援助をするように心がけている。	100%	0%
74	子どもに、何かをやらせようとして無理強いしないように気を付けている。	100%	0%
75	子どもが何かをやりたいという気持ちを尊重して認められるよう努力している。	100%	0%
76	子どもの発達段階を理解し、それにあった環境を整え適切に援助できるように心がけている。	100%	0%

子どもの人権擁護

77	排泄の失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉がけをする。	96%	0%
78	子どもが、友だちを叩く等、良くないことをした際に執拗に責めるような言葉がけをする。	96%	4%
79	子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	88%	12%
80	苦手なことを渋っている子に、「早くやって、できないなら後ろに行って。」と言ったり、他者と比較したりなど、否定的な言葉がけをする。	96%	4%
81	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューを全て配膳せず、食べたら次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	96%	4%
82	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と、他の保護者に聞こえるように言う。	100%	0%
83	子ども同士のトラブルが起きた時、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	100%	0%
84	自分から訴えてトイレに行く事ができるようになった子どもに対して、「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	53%	47%
85	集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「○○しないなら○○できないからね」と言葉をかける。	76%	24%
86	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、他の子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	100%	0%
87	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事ができないんだよね」と言う。	100%	0%
88	寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。	84%	16%
89	どなったり、「○○しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(鬼等)を使ったりして、子どもを保育者の思い通りに動かそうとする。	88%	12%
90	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	96%	4%
91	並ぶとき等に子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る。	73%	27%
92	子どもを注意する際に、「だめよ!」と言って子どもの手を叩く。	100%	0%
93	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	100%	0%
94	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	100%	0%

95	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	92%	8%
96	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に子どもに、「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」等の否定的な言葉がけをする。	100%	0%
97	いつもぎりぎりの時間にお迎えに来る保護者に「いつもぎりぎりですね。」と言ったり保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	100%	0%
98	「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち全員に発表してもらう。	88%	12%
99	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	100%	0%
100	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉遣いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	96%	4%
101	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する。	92%	8%
102	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	100%	0%
103	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに、「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。	100%	0%
104	10数えるうちに〇〇できないとおいて行くよ、と言う。	100%	0%
105	いい子、悪い子で子どもを評価したり決めつけたりする。	96%	4%
106a	子どもの名前を呼び捨てにすることは人権侵害にはならないと思うので、呼び捨てで呼んでいる。	76%	24%
106b	他の職員が子どもを呼び捨てで呼んでいるので、自分もやっていいと思い呼び捨てで呼んでいる。	92%	8%
107	自分の得意なことや、これだったら誰にも負けないと思うことは何ですか？ また、足りないと思うところはどんなところですか？		
108	今年度の評価点		
109	今年度の課題点		

はい、又はしていないの割合が80%～90%未満

はい、又はしていないの割合が70%～80%未満

はい、又はしていないの割合が60%～70%未満

はい、又はしていないの割合が50%～60%未満

